

# 保育園管理者様向け視察研修

2011.1.24(Mon)

## 出発

### 主なテーマ

- 森の幼稚園 ～保育者たちの保育実践と保育～
- 女性の就業率74%! 女性を支える保育システム











世界一幸福な国の『生きる力を育む保育プログラム』を学ぶ**8日間**

# デンマーク保育視察

スウェンボー・オーデンセ・コペンハーゲン

# 旅程

※都合により、内容が変更になる場合があります。

- 1日目**  成田空港→コペンハーゲン→オーデンセへ (オーデンセ泊)
- 2日目**  オーデンセ市内観光(アンデルセン博物館・ティンバーボックス・イエスコ城など)→スヴェンボーへ  
→夕食はホテルにて参加者交流会 (プロホルム城泊)
- 3日目**  講義受講(デンマーク及びスヴェンボー市の福祉・教育の政策についてのレクチャー)→市内観光  
→夕食は各自自由 (スヴェンボー泊)
- 4日目**  施設訪問(幼稚園・保育園)※森の幼稚園・スンドホイ自然幼稚園ほか4園訪問を予定  
→夕食は各自自由 (スヴェンボー泊)
- 5日目**  施設訪問(保育士幼稚園教諭養成校・クリエイティブハウス)※遊具のデザインや製作現場の見学ほかを予定  
→スヴェンボー市保育園園長や経営者と意見交換ミーティング→夕食は市の職員とパーティー(スヴェンボー泊)
- 6日目**  コペンハーゲンへ移動→コペンハーゲン市内観光(アマリエンボー宮殿・人魚姫・ストロイエほか)  
→ホテルチェックイン後は自由行動 (コペンハーゲン泊)
- 7日目**  ホテルにて朝食後、出発まで自由行動→空路成田空港へ (機中泊)
- 8日目**  成田空港到着・解散

## マイナス10℃でも、屋外で乳児を昼寝させるって、本当？

「マイナス零度に近い気温でも屋外で乳幼児を昼寝させるって、本当？」乳幼児をキャスター付きの可動式のラックのようなベッドに寝かせ、それを屋外まで移動してそこで昼寝させるのが一般的なデンマークの保育所。屋外の遊びに使うオーバーオールを着て、暖かな帽子をかぶり、それぞれしっかりお布団に包まれて、頬を真っ赤にして子供たちはしっかりお昼寝しています。あまりに寒すぎる日、あるいは吹雪・風雨の日には屋根のあるベランダへ入れたり、屋内でも窓を開け放つたりの工夫もされています。なぜそんなことをするかというと、1つには、屋内の空気はウイルスの細菌がいっぱいあったり、建材の化学物質で汚染されているため、屋外の空気のほうが清浄で子どもにも良いから。2つ目に、外気に触れさせ、外気を吸わせたいほうが、抵抗力が付き、体が強くなるから。デンマークでは、そう考えられているのです。



デンマークのほぼすべての保育所で、2歳までのお昼寝は屋外のこの乳母車ベッドで行っているんです。

## 「3歳までの保育」のシステムや料金はどうなっているの？

デンマークでは、ほとんどの女性が仕事を持っていることもあり、乳幼児を預ける保育所の充実が欠かせません。3歳児までの保育システムは、ボーグストゥと呼ばれる乳児保育園と、保育婦が自宅で乳児を預かるデイケアサービスのダウブライと呼ばれるものがあります。どちらも基本的には6ヶ月～3歳までの子供を預かるシステムで、居住の役所に、出産前でも妊娠が確認されていればいつでも申込ができます。この2つはあくまでも保育機関であり教育機関ではありませんが、子供に社会性を持たせるという方針があるので、仕事を持たない母親でも利用できます。



保育所費用の3分の2は国負担。保護者負担は2,725 クロネ(51,775円)。それほど日本と大きな違いはないようです。

## 参考データ デンマーク諸事情

成人年齢	18歳
退職年齢	65歳
税金負担	国税13～32% 県税11.5% 市税20.4% (ただし上限63%)
女性の初出産年齢平均	29歳
合計特殊出生率	1.78
保育園利用料/保護者負担	
乳幼児保育(0-2歳)	2,725DKK (51,775円)
幼児保育(3-5歳)	1,560DKK (29,640円)
保育ママ(0-2歳)	2,210DKK (41,990円)
児童手当	
0-2歳	1,123DKK (21,337円)
3-6歳	1,015DKK (19,285円)
7-17歳	799DKK (15,181円)
労働時間	週37時間労働
有給休暇	年間5週間

## スヴェンボーで子どもの人間性を育む環境を学ぶ

スヴェンボーは、先進的な福祉政策の街であると同時に、ベストシティ賞を受賞した見所満載の街。森の幼稚園やスンドホイ自然幼稚園を実際に見て回ることで、子どもを育てる環境の重要性を再確認し、日本の保育現場でも大いに役立ちます。



## 古城・プロホルム城に宿泊。歴史を感じ、非日常を満喫

スヴェンボーから車で15分の南フン。国内でも古城やマナーハウスが最も良く保存されているエリアです。プロホルム城もその一つで、1642年に建設されました。16部屋の客室はいずれも異なる内装が施されており、それぞれに趣きがあります。

周辺には湖や遊歩道もあり、きっと自然の中でリフレッシュできるはず！





# 視察研修のプログラム

2日目

## 童話王アンデルセンの家を訪れ、おとぎの国を体験



H.C.アンデルセン博物館

「マッチ売りの少女」「人魚姫」「みにくいあひるの子」などの名作で知られるアンデルセンは、豊かな緑となだらかな地形が紺碧に輝く海と共に美しい景観を作り出す街「オーデンセ」で生まれ育ちました。



毎週水曜日と日曜日に開かれる朝市

朝市のある日には、町にいつも以上に活気があふれます。また写真上、中央にあるのは、アンデルセンの童話を題材にしたオブジェ。町のいたるところに、アンデルセンの精神が生きています。



アンデルセン童話の銅像

オーデンセには、アンデルセンの童話をモチーフにした楽しい銅像があちこちにあり「空飛ぶトランク」「裸の王様」「羊飼いの娘とエントツ掃除人」「親指姫」「卵とおばさん」「ヒキガエル」「すずの兵隊さん」「折り紙の船」の童話の一場面を再現した銅像を探しに行きましょう。

3日目

## スヴェンボー市庁舎にて福祉・教育政策の講義受講

4日目

## デンマークの施設4箇所を見学・園長先生に質疑応答

5日目

## 施設2箇所を見学後、保育園園長・経営者と意見交換会



スヴェンボー市役所



スンドホイ自然幼稚園



森の幼稚園

6日目

## コペンハーゲンでモダンデザインと歴史都市を満喫



ニューハウン



アマリエンボー宮殿

旅の締めくくりは、デンマークの首都コペンハーゲンを散策。アマリエンボー宮殿や人魚姫、ストロイエ等を市内観光した後、午後から自由行動となります。ニューハウン地区、市庁舎、オペラハウスなど、北欧を代表するモダンな建築物を巡ってみるのもおすすめです。



ほんとう  
子どもに 真 に必要な体験を

## 株式会社 **日本福祉総合研究所**

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル 1階

**Tel.03-5786-1170**

**Fax.03-5786-1157**

<http://www.jwri.jp/>